

3月定例山行

3月20日(日)

## 陶ヶ岳

参加者名 21名

CL永谷 SL三浦

熊野、円山、鬼武  
川村、村田、田村  
安永、竹野栄、原田  
中島美、津田、秋信  
藤本、小山、石倉  
竹野弘、熊谷修  
中島康、佐々木、

コースタイム

県庁北 7:30⇒登山口 9:20⇒陶ヶ岳 10:35⇒火ノ山 11:15(昼食)12:15→  
亀山 13:00⇒下山口 14:10⇒県庁北 16:45



○

私にとって久しぶりの参加で、少しコースを探しながらの山歩きは本当に楽しい一日でした。

花の数は少しでしたが稜線からの眺めの素晴らしさと適度な岩稜帯(?)、夏山(アルプス)への足慣らしとしては、ぴったりの山でした。この様な山が近くにあれば良いですね。

春の霞のいたずらで、湯布岳、鶴見岳がうっすらと見えていました。すっきりした天気の時、来て見たいと思っています。

(記 永谷章彦)

○

薬草園のある元藩医の松永氏屋敷を通り抜けることから、今回の山行が始まる。

地元の案内板によると、陶ヶ岳・火ノ山・

亀山を『火山連峰』と呼称している。最初のピークである陶ヶ岳の途中に、見晴らしの良い麓の集落を扼する風情の段がある。そこは観音堂跡であり、石仏や岩屋の祠の古跡でもあった。又、麓には「周防銭司跡」などもあり、往時を彷彿と感じさせる山城である。

火山連峰は起伏差の少ない岩峰が南北に連なっており、稜線からの東西の眺めが素晴らしかった。殊に、西側の塩田跡地は、色鮮やかな緑の敷物広がる麦畑が春支度一杯で、寛いだ雰囲気になじむことが出来た。気温は高くなく、風も穏やか、そして天候は時折日差しが覗く程度で、快適な山行でした。

(記 小山 晃)